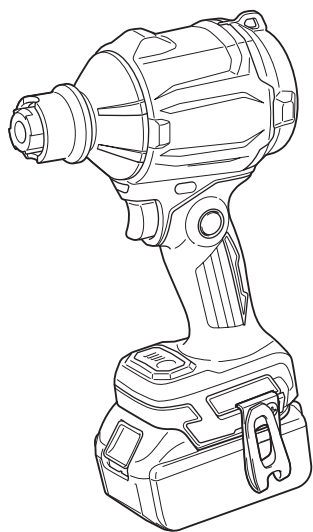


Makita

取扱説明書

充電式エアダスタ

モデル AS180D



このたびは充電式エアダスタをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	15
標準付属品の確認	16
別販売品のご紹介	19

ご使用前の準備

組み立て	21
バッテリー（別販売品）の充電	22
バッテリー/充電器の取り扱い	23
使用前に知っておいていただきたいこと	24

使い方

ノズルの取り付け/取りはずし方法	25
バッテリーの取り付け/取りはずし方法	27
本製品の操作	28
・スイッチの操作	28
・ライトの点灯	29
・風量の切替	31
・吹き飛ばし作業	32
・粉じんが多い場所での吹き飛ばし作業	35
・空気入れ作業	36
・空気抜き作業	39
使用後の取り扱い	42
・本製品のお手入れ	42
・フィルタのお手入れ	42
・フィルタCのお手入れ	44

保守/点検

故障かな？と思ったら	45
------------	----

はじめに

主要機能

主要機能	モデル	AS180D
電動機		DC ブラシレスモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧		直流 18 V
吸込み真空度※ 1		10.3 kPa
風速（最大）※ 2 ※ 4		200 m/s
風速（平均）※ 2 ※ 4		163 m/s
風圧（最大）※ 2 ※ 4		29.7 kPa
風量（最大）※ 3 ※ 4		1.1 m ³ /min
本製品寸法※ 3		長さ 179 mm × 幅 92 mm × 高さ 297 mm
質量※ 3		1.4 kg

充電器		DC18RF
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50/60 Hz
入力容量		330 W
バッテリー 充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V
	出力電流	直流 12 A
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.1 A
	端子形状	USB A 型

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：空気抜き用途時

※ 2：BL1860B、ノズル 7 装着時

※ 3：BL1860B 装着時、ノズル類非装着時

※ 4：モード 4

推奨ポータブル電源ユニット類

PDC01、BAP18

・ 詳細は各ポータブル電源ユニット類の取扱説明書をご参照ください。

1 回の充電での作業量（モード別）※

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 周囲の温度やバッテリーの劣化度合いなどにより、稼働時間は変化します。

項目	モード1	モード2	モード3	モード4
風力（最大）	1.1 N	1.7 N	2.3 N	2.8 N
1 回の充電での作業量	55 min	30 min	20 min	15 min

※：BL1860B 装着時、ノズル類非装着時

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式エアダスタ安全上のご注意

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式エアダスタとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

ご使用になる前に

1. 子供や体力が低下した人、感覚や精神状態に異常を認められる方には、絶対に使用させないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
2. 小さい子供やペットのいるそばで使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
3. 本製品の使用者が他の人や他の人の財産に対して、本製品に不備が無い事故や、損害を与えた場合はその責任を負う義務があります。

使用時のご注意

1. 次のときは必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。
 - ・ 本製品から離れるとき。
 - ・ 使用を終了したときや、使用しないとき。
 - ・ 本製品の点検、清掃をする際や作業前の準備中。
 - ・ 本製品が異常振動するなど異常が認められたとき。
2. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
3. 昼間や十分な光量が確保できる場所でご使用ください。
 - ・ 暗い場所での作業は、事故の原因となります。
4. フィルタは定期的にメンテナンスをし、目詰まりしないようにしてください。
 - ・ 故障の原因になります。
5. ほこりの多い場所で操作するときは、吸入口や送風口をほこりや汚れで塞がないように注意してください。
 - ・ 故障の原因になります。
6. 本製品の送風口や吸入口に手や棒などを入れないようにしてください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
7. 水平な地面で安定した姿勢で本製品を操作してください。
8. 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
9. 濡れた手で本製品を操作しないでください。
10. 高所で本製品を使用しないでください。
11. 本製品を落下させないでください。
 - ・ 故障やけがの原因になります。

⚠ 警告

12. 本製品を誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、事故やけがの原因になります。
13. 本製品に、マキタが提供する純正のノズルや標準付属品および別販売品以外は使用しないでください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
14. 不意な始動を避けてください。
 - ・ 本製品を持ち運ぶときは、スイッチを切り、バッテリーを取りはずしてください。
 - ・ 本製品を持ち運ぶ際、指がスイッチにかかっていると、不意な始動につながる原因になります。
15. 本製品を持ち運ぶときは、ノズルまたはアタッチメント類を持つたり、引きずったりしないでください。けがや故障の原因になります。
 - ・ 故障やけがの原因になります。
16. 本製品は極端な低温環境下で使用しないでください。

吹き飛ばし作業

1. 使用中にノズルの先端を他人や自身に向けたり、粉じんやくずなどを他人に吹き付けたりしないでください。
 - ・ 粉じんやくずなどが目に入ったり、けがや事故の原因になります。
2. 薬品などに使用して、吹き散らさないでください。
 - ・ ガス状になった有毒な薬品を吸い込むと、肺を傷める恐れがあります。
3. 釘、ガラス、刃物などの鋭利なものを吹き飛ばさないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
4. ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。また、それらを吸入口から吸い込ませないでください。
 - ・ 引火または爆発の原因になります。

その他、作業中のご注意

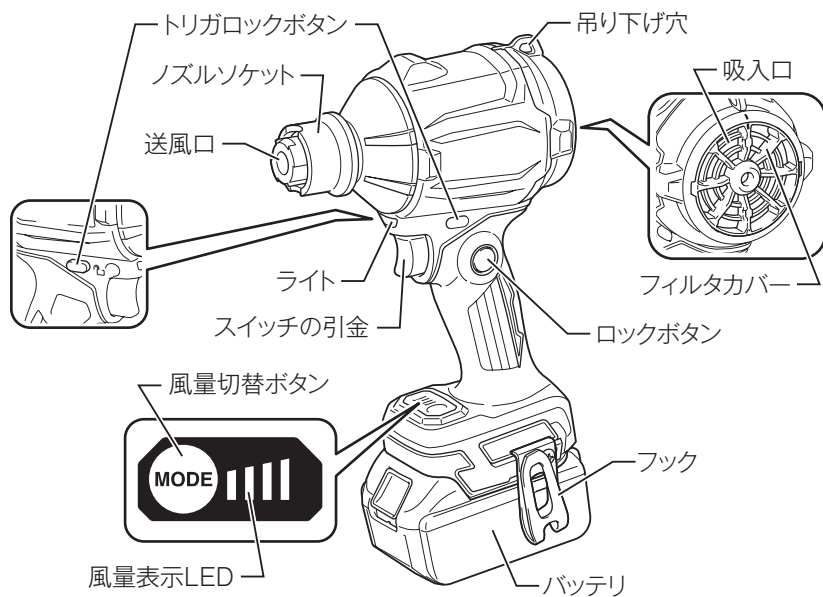
1. ダストキャップ（本製品の吸入口）を塞がないでください。
2. ノズルまたはアタッチメントが対象物に取り付けられているとき、または操作中に本製品を放置しないでください。
3. 本製品の空気抜き作業用アタッチメントを使用して掃除機のような使い方はできません。
 - ・ 故障の原因になります。
4. 本製品は呼吸を補助する装置として使用することはできません。
 - ・ けがや死亡など重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告

メンテナンスと保管

1. 各部品にゆるみやガタつきなど損傷や損耗がないようにしてください。
 - ・ 各部品が損傷したり損耗した場合は、販売店または当社営業所に修理、交換を申し付けてください。
2. 本製品は子供の手が届かない、鍵のかかる乾燥した場所に保管してください。
3. スイッチを切った際、本製品の可動部がすべて停止することを確認してください。
4. 点検、保管、付属品や別販売品への変更をする際は、必ずバッテリーを取りはずしてください。
5. 本製品を使用する前に、十分冷ましてから使用してください。
6. 本製品は前述の時間を超えて、長時間連続使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になるため、保護機能が作動してモータを停止する場合があります。
7. 本製品を保管する前に、十分冷ましてください。
8. 本製品は常に綺麗な状態で保管してください。
9. 本製品を分解しないでください。

各部名称



注

- ・ 吊り下げ穴とフックは本製品を吊り下げる用途以外では使用できません。

標準付属品の確認

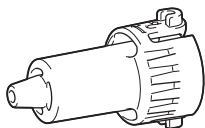
標準付属品	モデル	AS180DZ
バッテリー		×
充電器		×
ノズル3		○
ノズル7		○
ノズル13		○
フレキシブルノズル6		○
ワイドレンジノズル		○
ピンチバルブノズル		○
エアベントホース		○
ラバーアタッチメント 20-30		○
ラバーアタッチメント 65		○
フィルタ C		○
フック		○

ノズルアタッチメント一覧

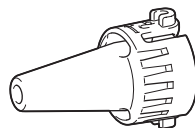
- ・ ノズルを交換することで吹き飛ばし作業やフィルタ清掃、ビニル管部の空気入れ、空気抜きなど、現場から家庭まで様々な用途に使用することができます。詳細は 32 ページ～ 41 ページを参照してください。
- ・ 標準付属品の購入を希望される場合は、下記部品番号でお買い上げの販売店、または当社営業所までお申し付けください。

■ 吹き飛ばし作業用

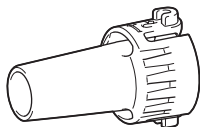
- ・ ノズル 3
部品番号：
413C50-8
最大風力：1.7 N
最大風圧：21.9 kPa



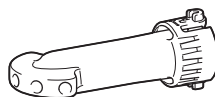
- ・ ノズル 7
部品番号：
413C51-6
最大風力：1.1 N
最大風圧：29.7 kPa



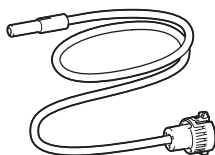
- ・ ノズル 13
部品番号：
413C52-4
最大風力：2.7 N
最大風圧：20.2 kPa



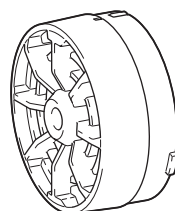
- ・ ワイドレンジノズル
部品番号：
413C29-9



- ・ フレキシブルノズル 6
部品番号：
141G58-3

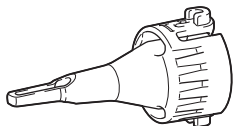


- ・ フィルタ C
部品番号：
141H56-3

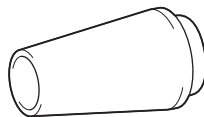


■ 空気入れ・空気抜き作業用

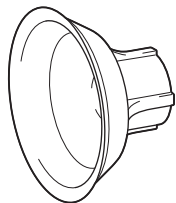
- ・ ピンチバルブノズル
(浮き輪用ノズル)
部品番号：
413C53-2



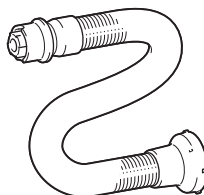
- ・ ラバーアタッチメント 20-30
(プール用アタッチメント)
※ノズル 13 用
部品番号：
422848-4



- ・ ラバーアタッチメント 65
(布団圧縮アタッチメント)
※ノズル 13 用
部品番号：
422849-2



- ・ エアベントホース
(空気抜き用ホース)
部品番号：
141G59-1



別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

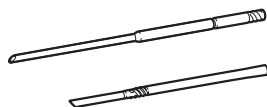
バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー（容量）	BL1815N（1.5 Ah）	A-60311
	BL1820B（2.0 Ah）	A-61715
	BL1830B（3.0 Ah）	A-60442
	BL1850B（5.0 Ah）	A-59900
	BL1860B（6.0 Ah）	A-60464
対応充電器	DC18RC（急速充電器）	JPADC18RC
	DC18RD（2口急速充電器）	JPADC18RD
	DC18RE（急速充電器）	JPADC18RE
	DC18RF（急速充電器）	JPADC18RF
	DC18SD（充電器）	JPADC18SD
	DC18SF（4口充電器）	JPADC18SF
	DC18SH（2口充電器）	JPADC18SH
その他アダプタ類	PDC01 ※	A-69098
	BAP18	A-65165

※ 別途 18 V バッテリーが必要です。

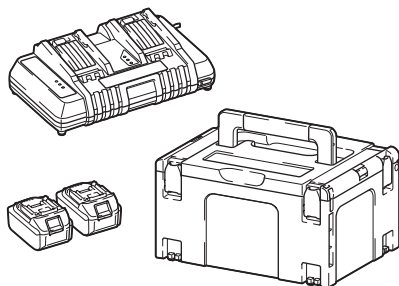
ノズル

- ロングノズルセット品
部品番号：
A-73455

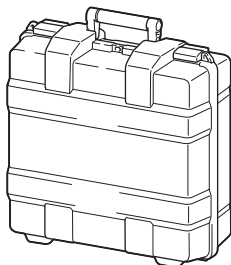


その他

- ・ パワーツースキット 1
部品番号：A-61226
※バッテリー BL1860B (2本) と 2口急速充電器 DC18RD がマックパックタイプ 3 に収められたセット品。



- ・ プラスチックケース
部品番号：
821916-4



ご使用前の準備

組み立て

フックの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

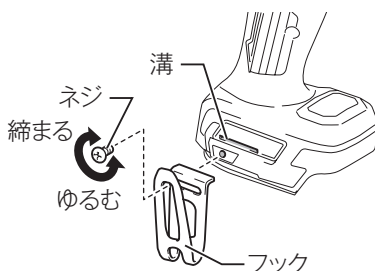
フックは腰ベルトなどへの吊り下げ以外の用途（高所での落下防止など）には使用しないでください。

- ・ フックに過度な負荷がかかるとフックが破損し、作業者および周囲または下にいる人がけがをする恐れがあります。

フックは作業の合間に一時的に本製品を腰ベルトなどに掛ける場合にお使いください。

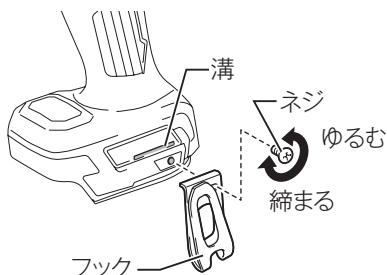
■ 取り付け方

本製品の溝にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。



■ 取りはずし方

ネジをゆるめてからフックをはずします。



注

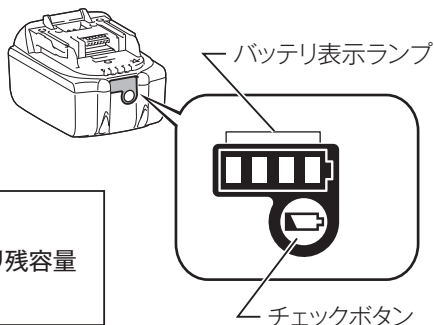
- ・ フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。
- ・ フックを使用する場合は本製品が確実に掛かっていることを確認してください。掛かりが不十分ですと本製品がはずれて事故の原因となります。

バッテリー（別販売品）の充電

バッテリー残容量表示

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75% - 100%
■ ■ ■ □	50% - 75%
■ ■ □ □	25% - 50%
■ □ □ □	0% - 25%
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
本製品またはバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none">・ 電源を切って本製品を冷ましてください。・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します (30 ページ「バッテリー切れお知らせ機能」参照)。 <ul style="list-style-type: none">・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none">・ いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(45 ページ参照)に従って点検してください。

各種機能

■ 再起動防止機能

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えています。スイッチの引金を引いた状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。その際は、スイッチの引金を放してスイッチを切ってから、再度スイッチの引金を引くと起動します。

使い方

ノズルの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。

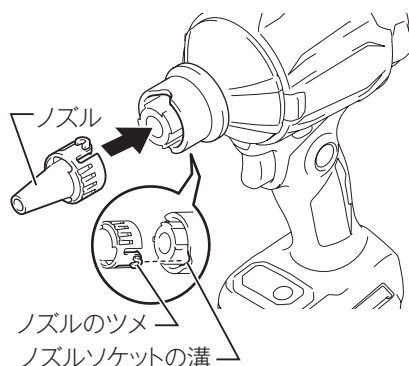
ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。



- ・ 各ノズルの取り付け方法、取りはずし方法は共通です。

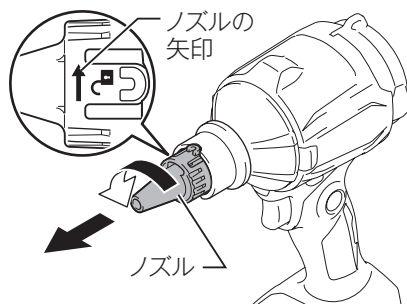
ノズルの取り付け方法

1. ノズルのツメとノズルソケットの溝を合わせます。
2. カチッと音がするまで押し込むと取り付けます。
3. 取り付け後に、一度ノズルを外側に引っ張り、しっかり取り付けられていることを確認します。



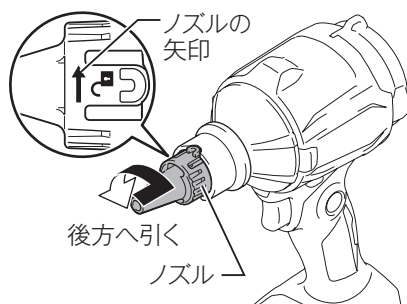
ノズルの取りはずし方法

- ・ ノズルに記載されている矢印の方向へノズルを回すとはずれます。



注

- ・ ノズル着脱部への異物混入などにより、ノズルが取りはずしにくい場合は、ノズルソケットを本製品後方へ引きながらノズルを回すとはずれます。



バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

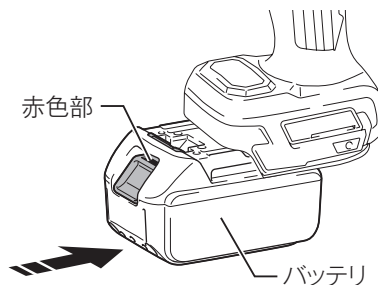
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

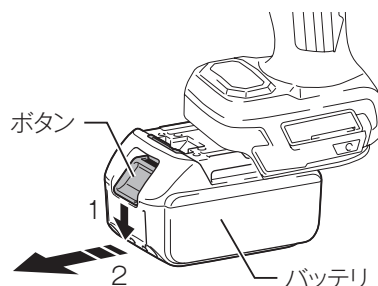
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



本製品の操作

スイッチの操作

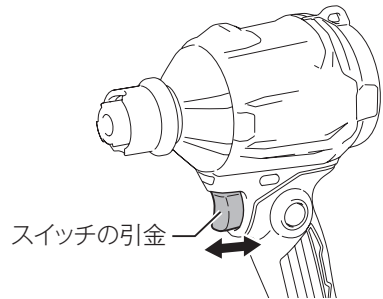
⚠ 警告

使用しないときは、トリガロックボタンをロック位置にしてバッテリーをはずしてください。

- ・ 不意に動きだすなど事故の原因になります。

■ スイッチの引金の操作

- ・ スイッチの引金を引くと作動し、放すと止まります。
スイッチの引金の引き加減により、お望みの風量が得られます。

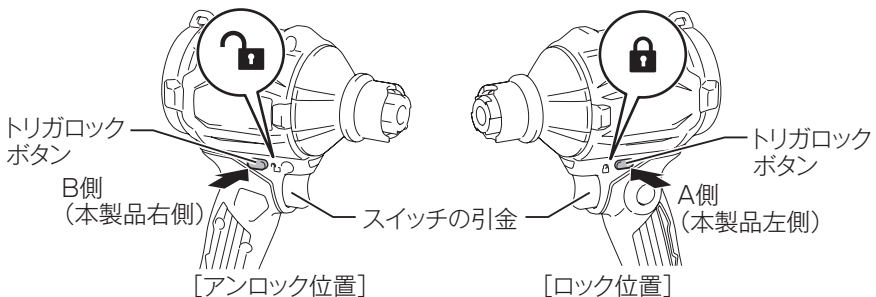


注

- ・ スイッチの引金を断続的に引くと応答が遅れる場合がありますが、故障ではありません。

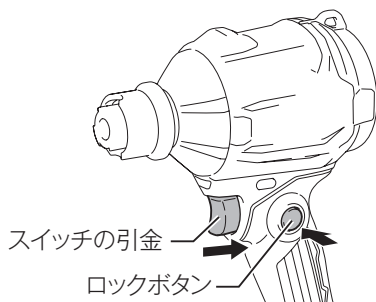
■ トリガロックボタンの操作

- ・ トリガロックボタンを A 側から押した状態にすると、ロックが固定されスイッチの引金が引けなくなります。
- ・ トリガロックボタンを B 側から押した状態にすると、ロックが解除されスイッチの引金を引くことができます。



■ ロックボタンの操作

- ・ 本製品を連続作動したい場合は、スイッチの引金を引いたまま、ロックボタンを押し込みます。スイッチの引金が引いた状態で固定され、連続作動します。
- ・ スwitchの引金を再度引くとロックが解除されます。



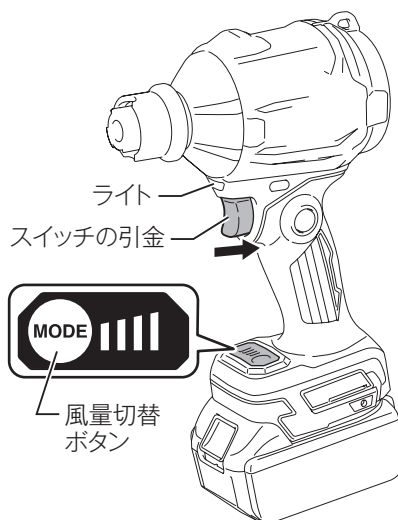
ライトの点灯

⚠ 警告

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

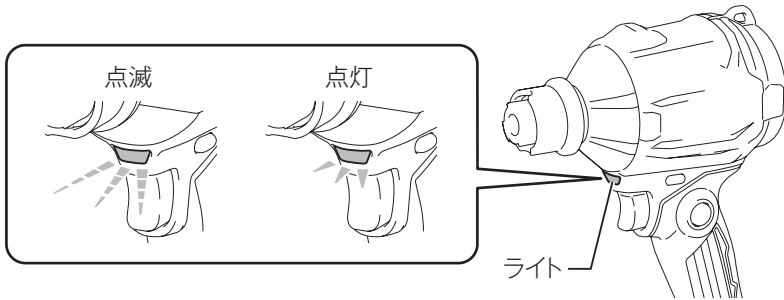
- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ スwitchの引金を引くか風量切替ボタンを押すとライトが点灯します。
- ・ スwitchの引金もしくは風量切替ボタンを放してから約 10 秒後に消灯します。



■ バッテリ切れお知らせ機能

- ・ ライトが点滅した際は、バッテリーを充電器で充電してください。
- ・ ご使用中に、バッテリー残容量が少なくなるとライトが点滅し、自動停止したときは、ライトが点灯してお知らせします。

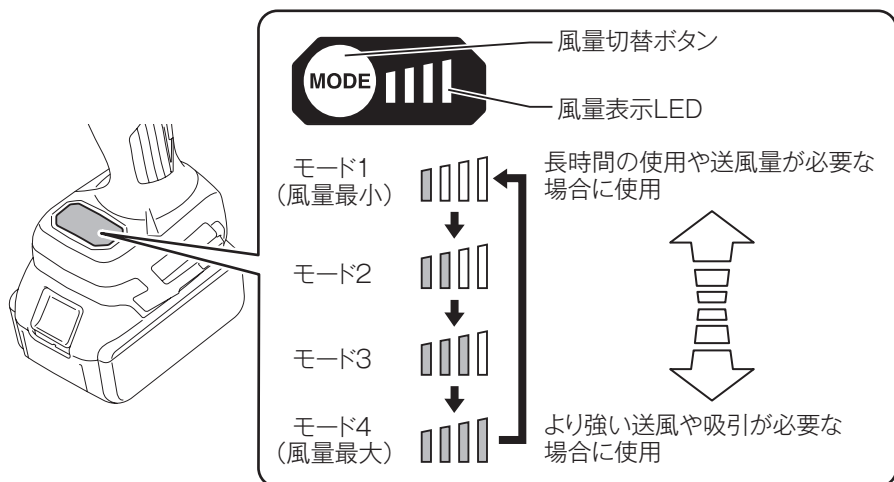


注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。
- ・ 本製品が始動しない程度にスイッチを押しても、ライトは点灯します。

風量の切替

- ・ 風量切替ボタンを押すごとに、風量を4段階のモードで切り替えて使用できます。



- ・ スイッチの引金を引かなくても風量切替ボタンでモードを選択することができます。
- ・ スイッチの引金を引くと、最後に選択したモードで動作を開始します。
- ・ 風量切替ボタンは動作中でも操作できます。

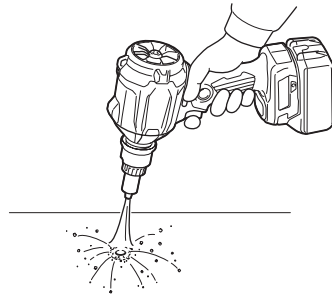
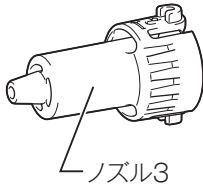
吹き飛ばし作業

⚠ 注意

ノズルが塞がった状態で作業しないでください。
本製品は構造上温かい風が出ますが故障ではありません。

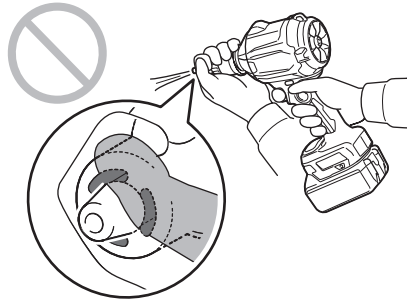
■ 狭い場所の掃除

- ・ ノズル3を使用します。
- ・ ドリル穴の削りカスや OA 機器のホコリの吹き飛ばしにおすすめです。



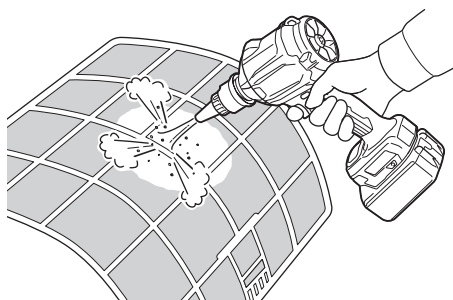
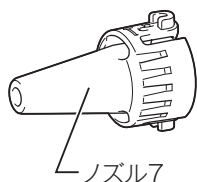
注

- ・ ノズル送風口周囲の隙間を塞がないでください。故障の恐れがあります。



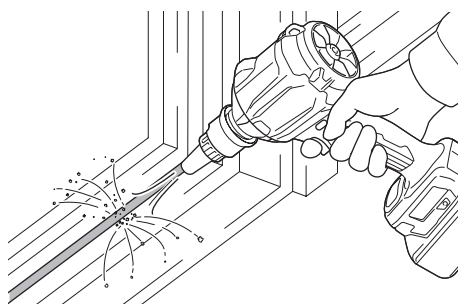
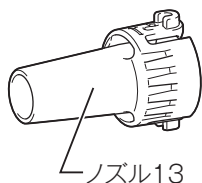
■ エアコンフィルタなどの掃除

- ・ ノズル7を使用します。
- ・ エアコンなどのフィルタの掃除におすすめです。



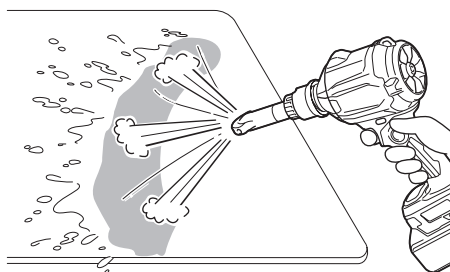
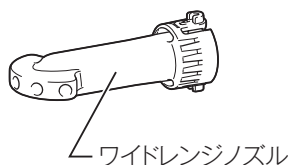
■ サッシの溝の掃除

- ・ ノズル13を使用します。
- ・ サッシなどの溝に溜まった泥や汚れの吹き飛ばしにおすすめです。



■ 広い範囲の吹き飛ばし掃除

- ・ ワイドレンジノズルを使用します。
- ・ 屋外テーブルの砂やゴミの吹き飛ばしや、水分の吹き飛ばしにおすすめです。



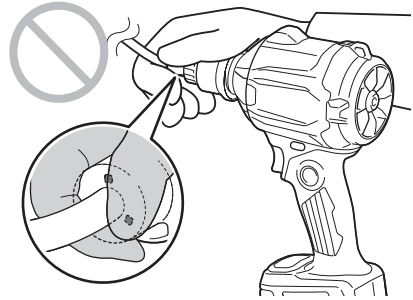
■ 狭い場所で本製品が入らない所の吹き飛ばし掃除

- ・ フレキシブルノズル6を使用します。
- ・ OA機器内部など本製品が入らない所の吹き飛ばし掃除におすすめです。



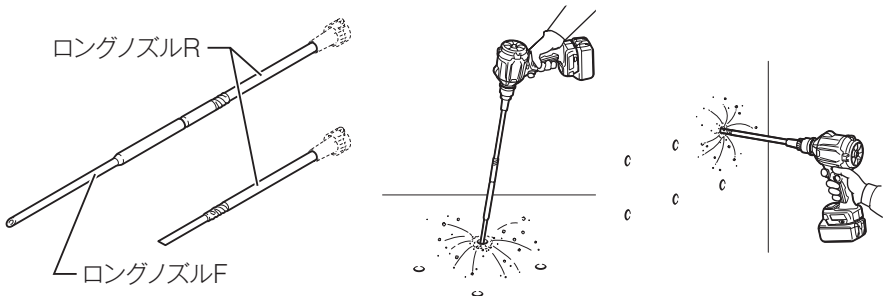
注

- ・ フレキシブルノズル6を使用するときは必ずノズル先端と本製品を持って作業してください。
- ・ ノズルチューブ周囲を塞がないでください。故障の恐れがあります。



■ 穴や狭い場所の掃除

- ・ ロングノズルセット（別販売品）を使用します。
- ・ 小さな穴や狭い場所のホコリの吹き飛ばしにおすすめです。
- ・ ノズルは、組み合わせによって長さの調整が可能です。

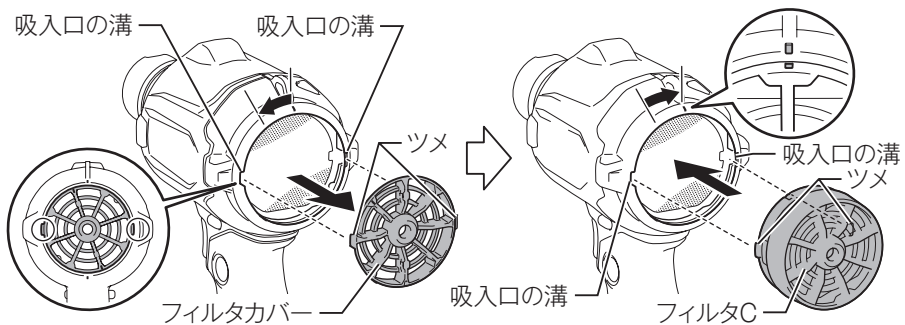


粉じんが多い場所での吹き飛ばし作業

- ・ フィルタ C を使用します。
- ・ 粉じんが多い場所での作業におすすめです。

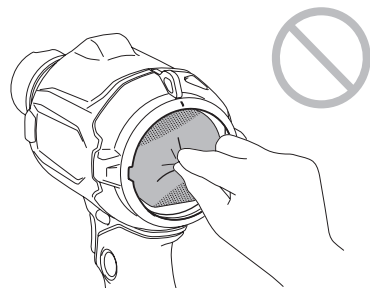
■ 取り付け方

1. フィルタカバーを矢印の方に回転させ、フィルタカバーのツメと吸入口の溝を合わせたら、フィルタカバーを取りはずします。
2. フィルタ C のツメを吸入口の溝に合わせてはめ込み、矢印の方向に回転させフィルタ C を取り付けます。



注

- ・ スポンジのフィルタは、はずさないでください。



空気入れ作業

⚠ 警告

ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。
ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。

⚠ 注意

ノズルが塞がった状態で作業しないでください。
本製品は構造上温かい風が出ますが故障ではありません。
・ 温かい空気が冷やされると体積が減ります。一度空気を入れた後、空気の量が足りないようでしたら追加で空気を入れてください。
実際に使用する浮き輪、ビニルプールの空気栓のサイズを確認してからノズルを選んでください。
・ サイズがあっていない状態で無理に押し込むと破損や故障の原因となります。
浮き輪やビニルプールの空気入れとして使用するときは空気の入れ過ぎに注意してください。
・ 破裂や破損の恐れがあります。また、作業中は必ず目を離さないでください。

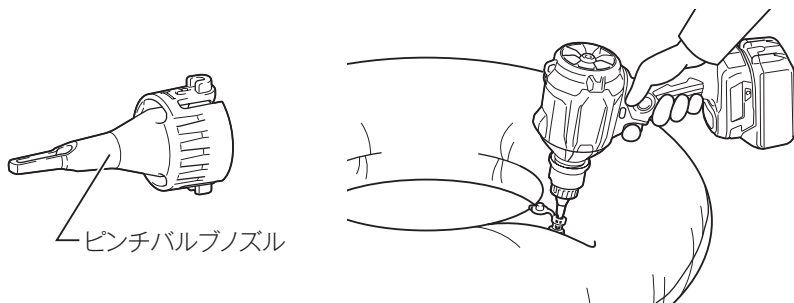
- ・ 本製品はエアダスタとして吹き飛ばし作業のほか、浮き輪などの空気入れ、布団圧縮袋の空気抜きなどの用途でもご利用できます。

■ 空気入れ用ノズルの取り付け／取りはずし方法

- ・ 各ノズルの取り付け方法、取りはずし方法は共通です。
取り付け方法は「ノズルの取り付け／取りはずし方法」(25 ページ)を参照してください。

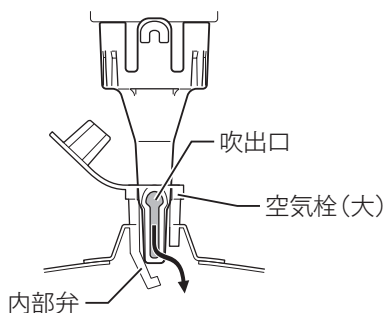
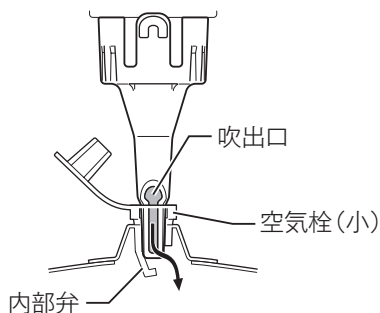
■ 小さな浮き輪への空気入れ

- ・ ピンチバルブノズル（浮き輪用ノズル）を使用します。



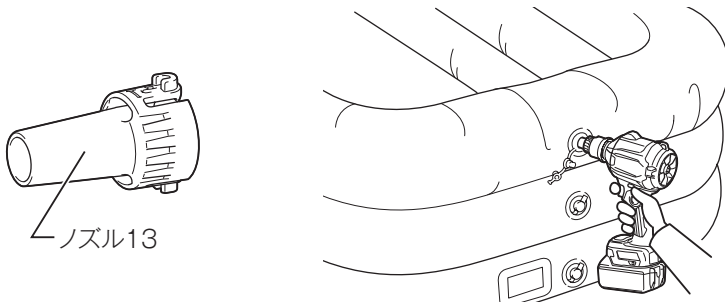
注

- ・ 空気栓の内部弁が開いて、ノズルの先端が出ていることを確認してください。
- ・ 空気栓のサイズが小さい場合、ノズルの先端が空気栓に隙間がないように差し込みます。
- ・ 空気栓のサイズが大きい場合、空気栓の吹出口が空気栓に隠れるまで差し込みます。



■ 大きな浮き輪やビニルプールへの空気入れ

- ・ ノズル 13 を使用します。



■ 風量切替のモードと 1 充電当たりの送風量 (BL1860B 装着時、ノズル非装着時)

- ・ 空気入れ作業では風量切り替えのモードにより 1 充電当たりの送風の総量が異なります。
- ・ 例えばモード 4 で使用した場合、モード 1 と比べると浮き輪に早く空気を入れることができますが、空気を入れることができる浮き輪の数は少なくなります。
- ・ 作業に合わせてモードを切り替えてご使用ください。

モード	送風量
モード 1	4.1×10^4 L
モード 2	2.7×10^4 L
モード 3	2.0×10^4 L
モード 4	1.8×10^4 L

数値は参考値です。

周囲の温度やバッテリーの劣化度合いなどにより、稼働時間や送風量は変化します。

空気抜き作業

⚠ 警告

ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。

ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。

⚠ 注意

ノズルが塞がった状態で作業しないでください。

実際に使用する浮き輪、ビニルプールの空気栓のサイズを確認してからノズルを選んでください。

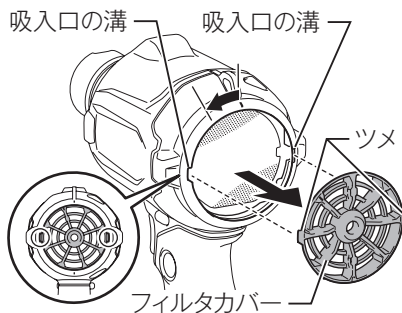
・ サイズがあっていない状態で無理に押し込むと破損や故障の原因となります。

浮き輪やビニルプールの空気栓との接続は、本製品にアタッチメントを付ける前に実施してください。

・ アタッチメントを不意に引っ張るなどすると、本製品が転倒・落下し、故障の原因となります。

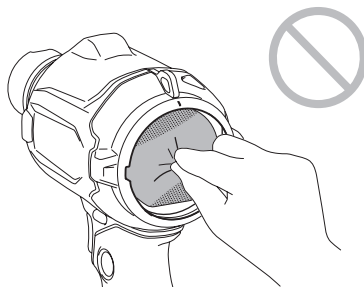
■ エアVENTホース（空気抜き用ホース）の取り付け方

1. フィルタカバーを矢印の方に回転させ、フィルタカバーのツメと吸入口の溝を合わせたら、フィルタカバーを取りはずします。

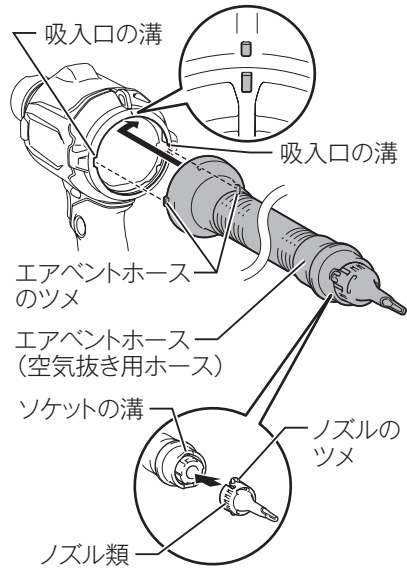


注

- ・ スポンジのフィルタははずさないでください。



2. エアイベントホース（空気抜き用ホース）に使用するノズルを取り付けます。
 - ・ ノズルのツメとアタッチメントのソケットにある溝を合わせてカチッと音がするまで押し込みます。
3. エアイベントホース（空気抜き用ホース）後端側のツメを吸入口の溝に合わせてはめ込み、矢印の方向に回転させ、本製品のマークとエアイベントホース（空気抜き用ホース）のマークを合わせます。

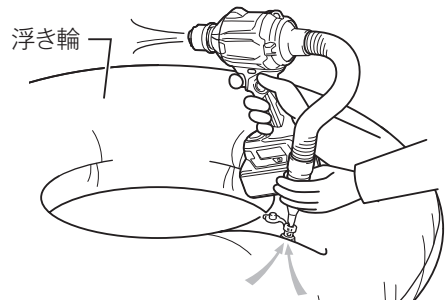
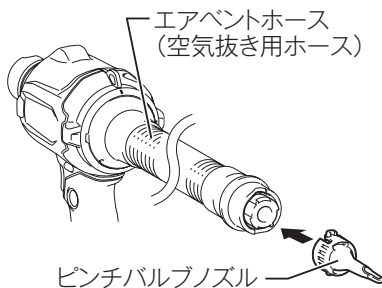


■ エアイベントホース（空気抜き用ホース）の取りはずし方

1. 取り付け方と逆の手順で取りはずします。
2. エアイベントホース（空気抜き用ホース）からノズルを取りはずす際は、他のノズルのはずし方と同様にノズルに記載されている矢印の方向へノズルを回します。

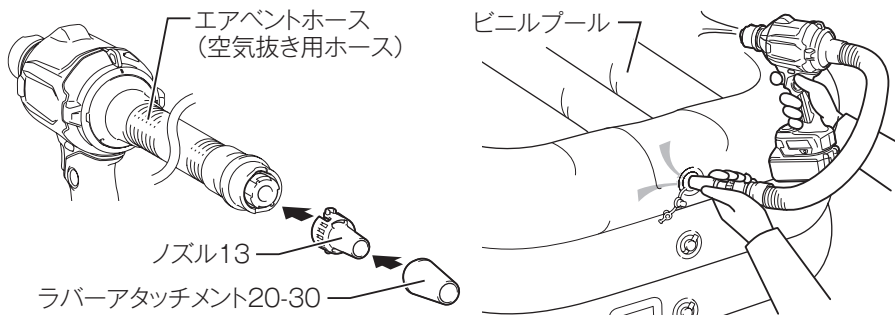
■ 浮き輪の空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にピンチバルブノズルを取り付けて使用します。



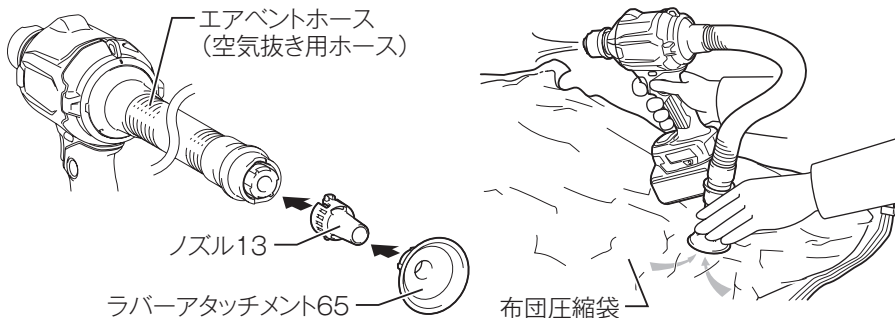
■ ビニルプールの空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にノズル 13 とラバーアタッチメント 20-30 を取り付けて使用します。



■ 布団圧縮袋の空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にノズル 13 とラバーアタッチメント 65 を取り付けて使用します。
- ・ 圧縮袋の空気抜き口に当てて使用します。



使用後の取り扱い

⚠ 警告

- 保守、点検の際は、必ず電源スイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

本製品のお手入れ

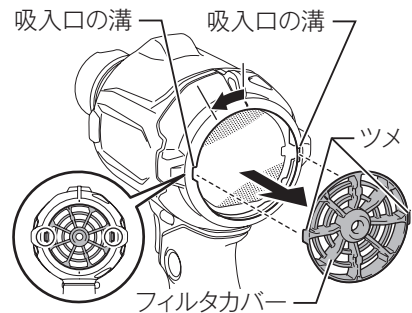
- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

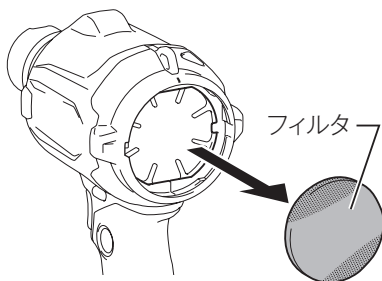
フィルタのお手入れ

- ・ 吸入口のフィルタは定期的に掃除をしてください。
1. フィルタカバーを矢印の方に回転させ、フィルタカバーのツメと吸入口の溝を合わせたら、フィルタカバーを取りはずします。



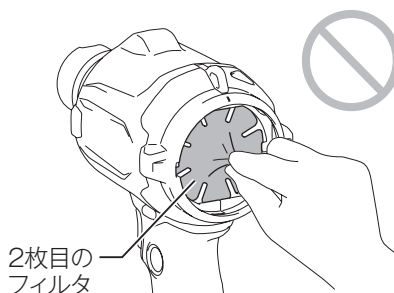
2. フィルタを取りはずし、フィルタに付いたゴミやホコリを取り除きます。

 - ・ フィルタは水洗いできます。水洗いした場合は、十分に乾かしてから戻してください。

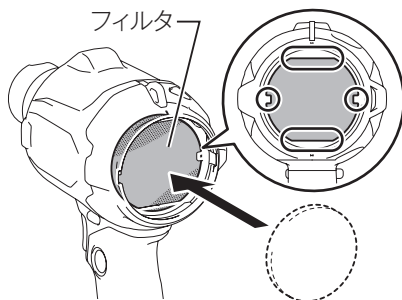


注

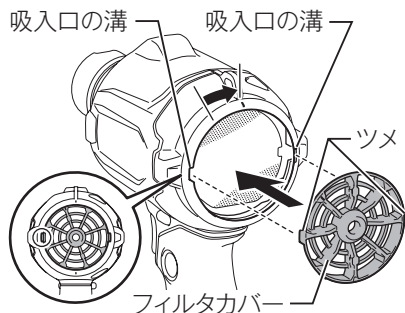
- ・ 2枚目のフィルタは取りはずさないでください。
- ・ 2枚目のフィルタに大きなゴミなどが付着している場合は手で取り除いてください。
- ・ 水洗いしたフィルタの乾燥にエアダスタを使用しないでください。



3. フィルタをもとの位置に戻します。

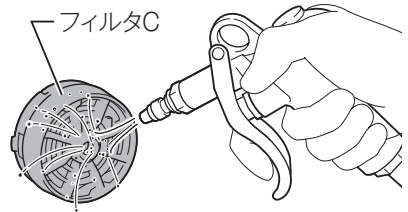


4. フィルタカバーのツメを吸入口の溝に合わせてはめ込み、矢印の方向に回転させ、フィルタカバーを本製品に取り付けます。



フィルタ C のお手入れ

- ・ フィルタ C は、掃除することで再利用できます。
- ・ フィルタが目づまりすると、空気の流れが妨げられ、操作の効率が低下する可能性があるため、定期的にフィルタのホコリを取り除いてください。
- ・ 掃除する際は、必ずエアブローなどで、フィルタからホコリを振り落としたり、吹き飛ばしたりするようにしてください。
- ・ 時々フィルタを水洗いしてください。水洗いした場合は、きれいにすすぎ、日陰で完全に乾かしてから使用してください。



注

- ・ フィルタを拭いたり、こすったり、引っかいたりしないでください。目づまりや故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 24 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881J31-6
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)